



令和2年12月

ひと・モノ・文化が交流し にぎわいあふれる まちづくりを目指して

# 屋代地区開発の「いま」 Vol.1

(広域交流拠点整備)



## ◎ 屋代地区開発の関係者の動きについて

### 進出企業の動き

これまでの**商業系企業**に加え**工業系企業**も含め4社ほどが進出意欲を示していますが、社名は企業側の要望もあり、決定までは公表できません。企業側では要となる区画内道路、周辺の基盤整備の充実度を重要視しています。

### 土地所有者の動き

平成29年5月地権者主体の「屋代地区土地区画整理組合設立準備会」が発足し、組合施行による約35ha一括での事業成立に向け、市による支援を受けながら役員会・地権者報告会を定期的に開催しています。

## ◎ 屋代地区開発の課題について

「課題」

「対応」

**農地:** 優良農地として保全してきた土地の商工業系への利用転換を図る

農村産業法による産業導入地区に位置づけ規制の除外や土地利用の転換を図る

**都市計画:** 市街地への編入を図る

千曲市都市計画マスタープランへ位置づける  
※マスタープラン: 基本的な方針

**企業ニーズ:** 基盤整備を図ることで企業進出を促進させる

市道一重山2号線を始めとした周辺道路整備及び国・県への事業化に向けた協議

**スマートIC:** 広域交流拠点の機能強化、移動の円滑化、物流の効率化を図る

国を始めとした関係機関との協議を重ね、早期事業化を図る

**埋蔵文化財:** 埋蔵文化財の保護と開発との調整を図る

試掘により地下の状況を把握し、埋蔵文化財への影響の軽減に努める

## ◎ 屋代地区開発のこれまでの調査について

これまで課題の解決に向け「周辺基盤の事前調査」「土地区画整理の事業化」「スマートIC設計」など調査を進め、多くの時間と費用(平成28年度～令和元年度決算額:約1.5億円)をかけてきました。

## ◎ 今後の方針について

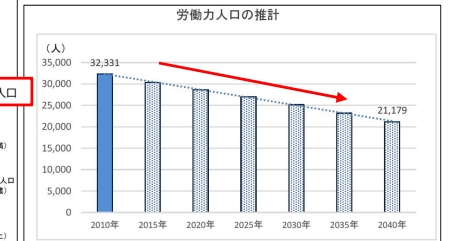
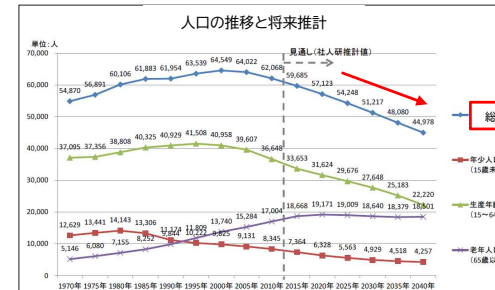
少子高齢化や経済情勢など社会の変化に対応できるよう、**千曲市全域や広域での活性化**につながる新たなまちづくりに取り組んでまいります。

まず、安全・安心や生活の質の向上、経済活動を促進する効果がある**道路をはじめとした基盤整備**を計画的に進めてまいります。

本紙をはじめ、今後もホームページ等で市民の皆さんへ情報提供してまいります。

### はじめに

千曲市の総人口は、千曲市人口ビジョン(H28.2)の人口推計によると、令和22年(2040年)44,978人と5万人を大きく割り込むことが予測されており、また働く人(労働力人口)も大きく減少するとされています。



出典:千曲市人口ビジョン

**人口減少や地域経済の縮小を食い止め、より高い市民サービスを維持していくには、自ら稼ぐ力(自主財源の確保)がますます重要となります。**

市はこの課題を解決するため、**第二次千曲市総合計画**において「**千曲の魅力で創生する賑わい(にぎわい)と活力あるまち**」を目標に掲げ、屋代地区及びその周辺を広域交流拠点として位置づけるとともに、次にあげるまちづくりを目指しています。

- ① **「交通の要衝」という適地を活かした産業経済基盤を形成する。**  
※要衝: 大切な地点
- ② **地域住民や広域からの人々が集い、楽しみ、賑わい(にぎわい)のある新たな活力の場(=広域交流拠点)を創出する。**
- ③ **市内の産業・観光拠点を道路ネットワークで結ぶ「千曲市産業連携道路ネットワーク」構築を図る。**

**本紙では、この広域交流拠点整備のこれまでの経過や検討状況を市民の皆さんに報告いたします。**

(内容は令和2年12月現在のものです)



←二次元コード読み取り  
詳しくは地域開発推進室のホームページをご覧ください

～この配布物に関するご質問・ご意見は～  
千曲市役所 建設部 地域開発推進室  
室長:稲玉修治 係長:篠原哲哉 係員:伊藤孝雄  
Email:kaisui@city.chikuma.lg.jp  
Tel:026-273-1111(内線3243・3244)

① 「交通の要衝」という適地を活かした産業経済基盤を形成する

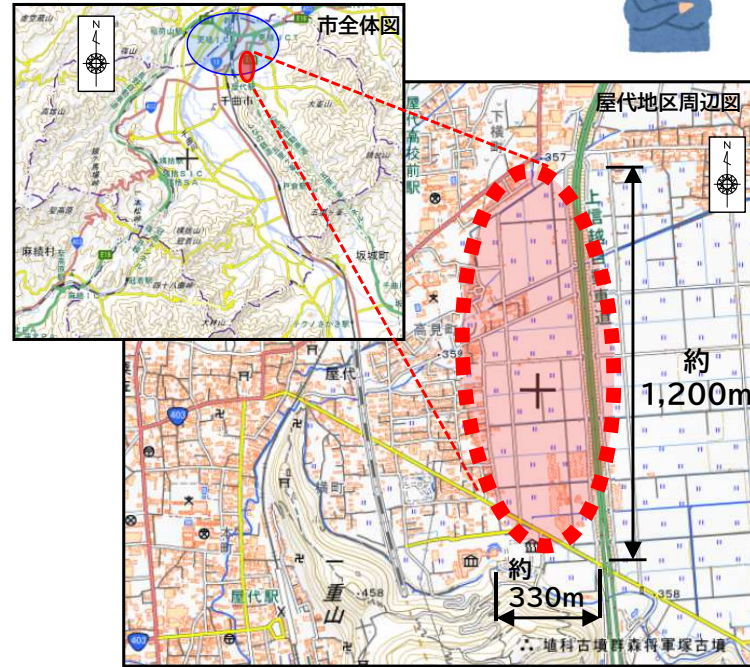
この地域が持っている特性は…

1. 高速道路のジャンクションやインターチェンジ、幹線道路が結節する県内有数の「交通の要衝」
2. 精密機器製造業・運送業など市内主要産業が集積し「工業団地を形成」

当地域には他に無い「地の利」があることからここを活かした「千曲市全域の産業振興」を図ります。



どうして屋代地区で開発をするのですか？



② 地域住民や広域からの人々が集い、楽しみ、賑わいのある新たな活力の場 (=広域交流拠点) を創出する

地区のコンセプトは「広域交流拠点」と「産業基盤の形成」

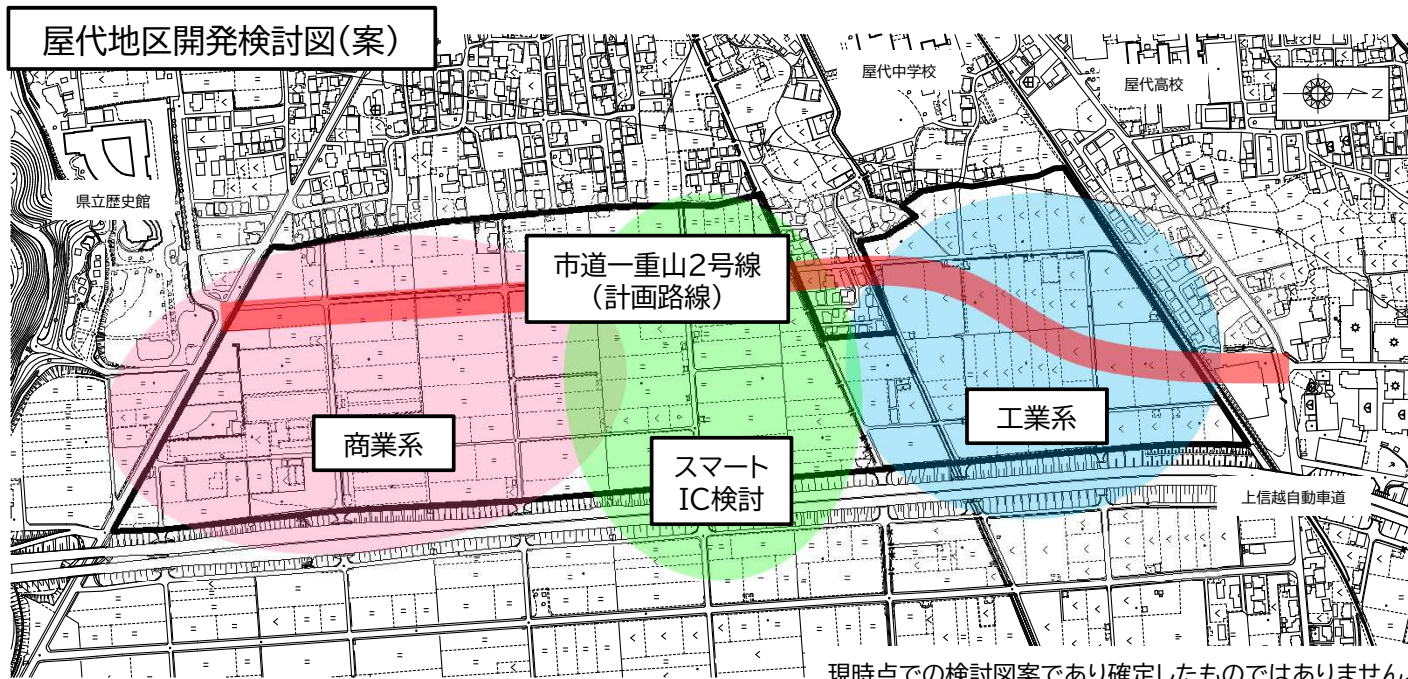
商業系 (人が集う施設)他 + 工業系 (魅せる工場)他

新たな産業基盤の形成により、就業機会が確保され、働く人が地域で住み続けられることで持続可能な地域コミュニティにつながります。

どんな場所になりますか？



※こうした市の考えに理解を示した複数の企業が進出への関心を寄せています。



現時点での検討図案であり確定したものではありません。

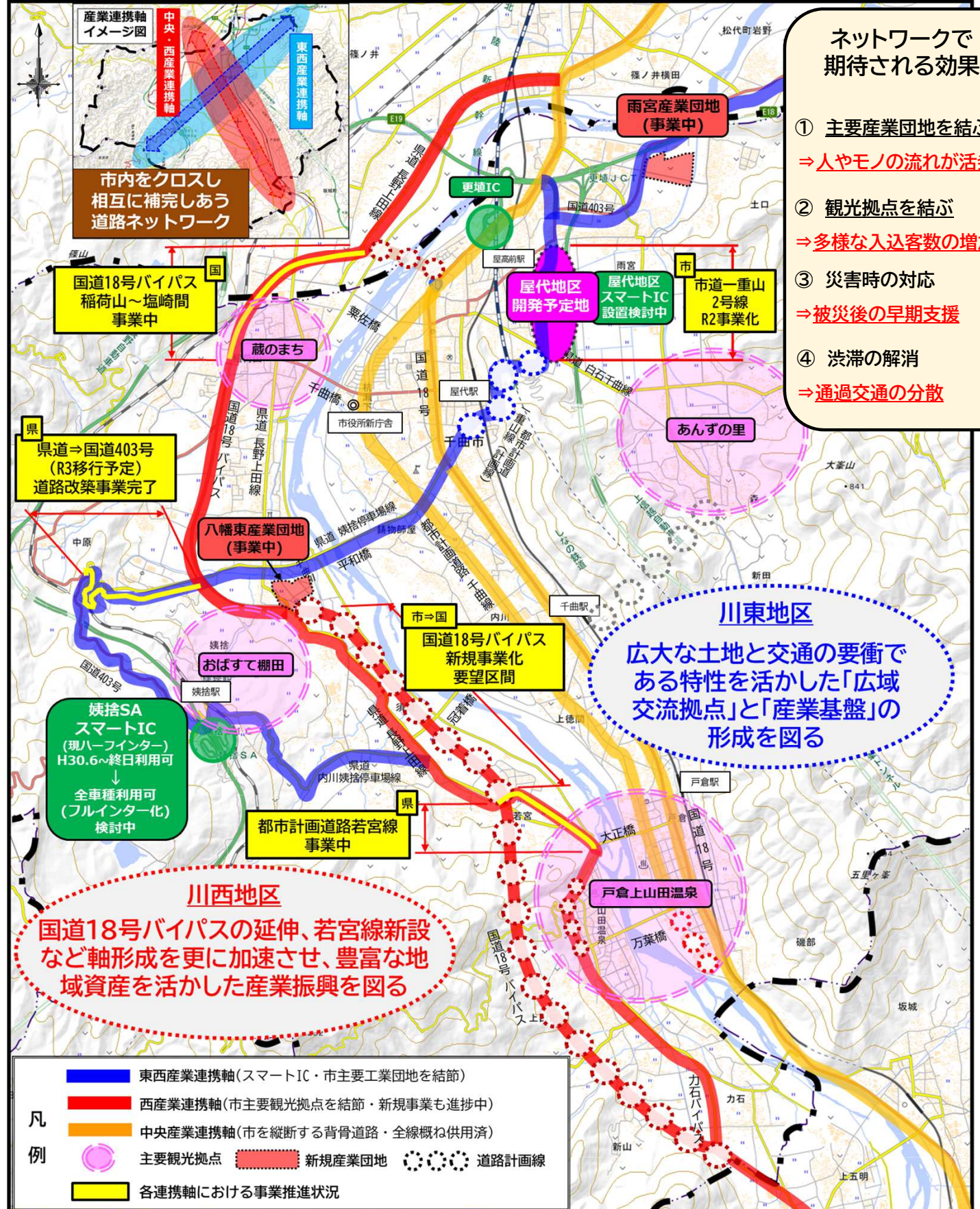
③ 市内の産業拠点を道路ネットワークで結び「千曲市産業連携道路ネットワーク」構築を図る

便利になるのはいいけど交通渋滞が心配



屋代地区における広域交流拠点・産業基盤形成とともに、そこに集まる人やモノや文化を市内全域に波及・循環させるために産業連携道路ネットワークの構築を図り、今後国・県と共に積極的に整備を促進していきます。

【千曲市産業連携道路ネットワークイメージ図】



ネットワークで期待される効果

- ① 主要産業団地を結び ⇒ 人やモノの流れが活発化
- ② 観光拠点を結び ⇒ 多様な入込客数の増加
- ③ 災害時の対応 ⇒ 被災後の早期支援
- ④ 渋滞の解消 ⇒ 通過交通の分散